

中国の美術教育の教育課程と教材例

—— 小学校美術教育について ——

段 薇清*・福田 隆眞

On the Curriculum and Learning Materials of Art Education in China
— With Special Reference to Primary School Education —

Duan Wei Qing and FUKUDA Takamasa

(Received May 15, 2002)

キーワード：中国 美術教育 小学校 教科書 教材

はじめに

- I 中国の普通小学校での美術教育の目標及び内容
- II 中国の普通小学校における美術の教科書
- III 美術教育による基本的素質の育成

はじめに

中国（中華人民共和国）では、近年、教育改革が進められており、その代表的なものが素質教育と呼ばれるものである。これは1997年から開始されたもので、従来の知識の詰め込みによる知識偏重の教育に対して、人間発達を全面的に捉えて個人のもつ潜在的能力を引き出だし、創造的な人間の育成を図ろうとするものである。こうした状況において、美術教育は技術や技法の習得に留まらず、造形的内容を介しながら創造的な表現や発想を育成しようとしている。しかしながらこうした教育改革の理念はまだ、美術教育の教材や指導法にまでは浸透していない。本稿ではこうしたことを踏まえながら、現代の中国で行なわれている美術教育の現状を報告し、小学校での教科書をもとに教材についての考察を試みる。

I 中国の普通小学校での美術教育の目標及び内容

以下では中国の美術教育の指針となる教育課程について指導要綱をもとに述べる。

1 中国の普通小学校における美術教育の指導要綱

美術の教育課程は小学校段階の必修芸術教育課程である。以下には中華人民共和国の教育委員会に制定された普通小学校の美術教育における指導要綱、いわゆる、美術教育の目

*山口大学大学院東アジア研究科博士課程

的、要求、内容及び内容を選択する規則について述べる。(注1)

(1) 美術教育の目的

美術教育を通して、子どもは簡単な美術の基本的な知識と簡単な造形技術を身につける。健全な審美能力、国を愛する感情、よい道徳、強い意志などを育成できる。また、観察能力、形象記憶能力、想像能力、創造能力なども育成できる。

(2) 美術教育の要求

低学年

- <1> 子どもの生活に対する認識や表現などを指導する。
- <2> 母国を愛する感情と幸せな生活を感じさせる。
- <3> 面白い美術教育活動を通して、子どもの美術に対する興味を育成する。
- <4> 子どもに常用の色を認識し、使用することを教える。平面を認識し、表現させる。簡単な芸術材料を使って、簡単な平面と立体作品を制作させる。
- <5> 子どもに生活の中からよいものを表現できる能力を育成する。子どもの形象記憶能力と創造能力を発達させる。

中学年

- <1> 子どもに有名な美術作品に触れさせ、理解させる。母国の芸術を愛する感情を育成する。
- <2> 生活と自然の美しさを体験させる。そして、その中から表現欲求を育成する。
- <3> 子どもに立体作品の表現方法を習得させる。また、身のまわりの生活をデザインし、制作させる。
- <4> 子どもの観察習慣、観察能力を育成する。想像能力と創造能力を発達させる。

高学年

- <1> 子どもに長い歴史を持っている母国の伝統美術を理解させる。
- <2> 審美趣味、審美能力を育成する。真剣に学習する態度を育成する。
- <3> 子どもに物体の構造、空間関係を認識させる。図案、構成などについての知識を教えて、簡単なデザインと制作を練習させる。
- <4> 子どもの思考能力を育成する。美術で自分の気持ちを表現する能力を育成する。

(3) 美術教育の内容を選択する規則と美術教育の内容

1) 美術教育の内容を選択する規則

- <1> 小学校美術の教育課程の教育内容は、子どもに審美教育することを考えなければならない。子どもの審美的素質を高める目的を考えるべきである。
- <2> 教育内容には民族的特徴がなければならない。中国の有名な伝統的な民族芸術、民間芸術を十分に教えるべきである。子どもに中国を愛するようさせる。
- <3> 美術の教育内容は時代を反映し、社会発展の傾向に適応するべきである。
- <4> 美術の教育内容は子どもの心理と生理の特徴に適応するべきである。発達段階と子どもの興味に注意すべきである。
- <5> 美術の教育内容は子どもの思考能力を育成することと、子どもの創造性を開発する。

- < 6 > 理論と実践を関連づける。教育内容と子どもの生活がつながることに注意すべきである。しかも、教育課程の10%～20%は地域について教えるべきである。教材は地域の社会と経済を反映するものである。
- < 7 > 美術の教育内容は、他の科目と関連を持たせるように注意すべきである。
- < 8 > 美術教育の内容は指導要綱に適応する。

2) 美術教育の内容

1年生

- < 1 > 他の子どもの美術作品をみることと、中国の民間玩具を鑑賞することである。
- < 2 > 正しい絵画の姿勢と習慣を教える。
- < 3 > 鉛筆、色鉛筆、クレヨンなどで基本的な平面の形を描く。
- < 4 > 紅、黄、青、オレンジ、緑、紫など常用する色を認識することと、色を塗ることを教える。
- < 5 > 形と色の知識を利用して、模倣、挿し画、記憶画、想像画などを練習する。
- < 6 > ちぎること、折ること、染めること、貼ることなどの方法で簡単な図形を制作する。
- < 7 > 練ること、擦ること、掘ることなどの方法で簡単な立体動物、玩具などを作る。

2年生

- < 1 > 有名な絵画作品の中で描かれた子どもについての表現方法を鑑賞する。
- < 2 > 平面上で形を組み合わせて景色と物体を表す。
- < 3 > 記憶画で自分の周りの人物を表す。
- < 4 > 紙を手でちぎることと鋏で切ることによって、対称形と不対称形を作る。
- < 5 > いろいろな材料を貼り合わせて平面作品を作る。
- < 6 > 簡単な材料を使って、切る、貼る、掘る、構成するなどの方法で、簡単な立体の自動車、家具などを作る。

3年生

- < 1 > 子どもの生活と身近かな中国の有名な工芸美術作品を鑑賞する。
- < 2 > 鉛筆で線描の方法を使って簡単な静物画を描く。
- < 3 > 原色、中間色、混色の知識を習う。毛筆によって調色を練習する。
- < 4 > 記憶画と想像画で自分の最も興味のあるものを表す。
- < 5 > 簡単な紙版画を制作する。
- < 6 > デザイン作品の中で連続する形を組み合わせて練習する。
- < 7 > いろいろな材料を使って配列の方法と組み合わせの方法でいろいろな図形を制作する。
- < 8 > 簡単な材料を使用して、いろいろな方法で建物を立体で制作して、環境を美化する。

4年生

- < 1 > 中国の古今の有名な絵画作品を鑑賞し、理解できるようにする。
- < 2 > 遠近〔透視〕画法を認識し、線描の方法で物体の構造を理解して描く。
- < 3 > 簡単な中国画の知識を習う。中国画の野菜、果物などを模倣する。
- < 4 > 記憶画で生活の面白さを表す。

- < 5 > 画面構成と人物の動態を観察する。
- < 6 > 単色の深さと淡さの変化で、物体の形を表す。
- < 7 > 編む工芸と切り画を習う。
- < 8 > 簡単な動物、人物の彫塑を制作する。

5、6年生

- < 1 > 外国の有名な美術作品を鑑賞する。
- < 2 > 中国の有名な建築、彫刻、工芸美術作品を鑑賞する。
- < 3 > 立方体、球体の透視画法を習う。線と明暗を利用して立体を表す。
- < 4 > 景色を見て画面を構成することを習う。鉛筆の濃淡で故郷の景色を描く。
- < 5 > 中国画の筆と墨の知識を理解する。中国画の花、動物などを模倣する。
- < 6 > 童謡と詩に画を添える。
- < 7 > 人物の比率の知識と表情を描く方法を習う。子どもの作文、子供の読み物などに画を添える。
- < 8 > レタリングを習う。
- < 9 > 色相、明度、彩度と色の寒暖の知識を習う。
- < 10 > 石膏板、粘土板などの材料を利用して簡単なレリーフを習う。
- < 11 > いろいろな材料と方法で玩具を制作する。
- < 12 > 平面構成を練習する。重複的に、グラデーションの構成の知識を習う。
- < 13 > 学習した美術の知識を利用して絵画、デザインを制作する。

(4) 教育の中で注意すべき問題

- 1) 教師は指導要綱の内容を真剣に理解すべきである。思想教育、道徳教育、審美教育、能力教育、知識教育などの関係を適切に処理すべきである。そして、美術教育の作用を十分に発揮する。
- 2) 多様な教育形式を採用して啓発教育をすべきである。子どもが生き生きとして活発に絵を描かせる。創造的な絵も描かせる。いわゆる、子どもの勉強について積極的に行動を起こさせるべきである。
- 3) 多様で有名な美術作品、及び作家と作品についてのビデオ、映画などを見せる。
- 4) 美術教育を改革、発展するために、積極的に実験すべきである。
- 5) 課外活動は美術教育の一部であるので、活動を行う条件を積極的に創造し、多様な課外活動を計画的に実現するべきである。
- 6) 普段の授業中の態度を学業の評価にすべきである。

Ⅱ 中国の普通小学校における美術の教科書

ここでは美術教育の指導要綱により作られた美術教科書を紹介し、教材の構造と教材の特徴の二点にまとめる。

1 美術教科書の教材構成（注2） 一年生（前期）

題材名	分野	目的	材料、用具
① 子ども達の絵画	鑑賞	● 絵画を通して美術への興味を持たせる。	
② 色を認識する、塗る	構成	● 常用する色を認識させる。 ● 視覚的機能を発達させる。 ● 絵画の姿勢と習慣を教える。	クレヨン、紙
③ 形の世界	同上	● 日常生活の中にある形を認識させる。 ● 視覚的機能を発達させる。	同上
④ 円形	同上	● 色と形の知識を利用して、美の感覚を発達させる。	同上
⑤ 方形	同上	● 同上。 ● 形見つけ。	紙、鋏、のり
⑥ 三角形	同上	● 同上。	クレヨン、紙、水彩絵の具
⑦ 台形	同上	● 同上。	同上
⑧ 円形に色を塗る	同上	● 形態、配置、比率、リズム、動勢、色彩といった造形上の諸要素を体験、習得させる。	同上
⑨ 円形を使って、動物を描く	同上	● 観察を通して、気付かなかった特徴を発見させる。 ● 観察能力を育成する。	同上
⑩ 色とりどりの旗	同上	● 色と形の知識を利用して、色とりどりの旗をつくる。 ● ちぎる、折る、染める、貼るなど方法で児童が持っている力を十分働かせる。	紙、のり、鋏、クレヨン、水彩絵の具
⑪ 私の好きな動物	立体彫刻	● 練る、擦る、掘るなど方法で知覚を発達させる。 ● 材料が本来持っている属性を知らせる。 ● 発想する能力を育成する。	粘土、棒
⑫ 卵に絵を描く	工作	● 材料が本来持っている属性を知らせる。 ● 知覚を発達させる。 ● 発想する能力を育成する。 ● 美的感覚を育成する。	卵、マーカー

題材名	分野	目的	材料、用具
⑬ 形の違う顔	同上	●材料が本来持っている属性を知らせる。 ●発想する能力を育成する。 ●知覚を発達させる。	石、紙、草、ビニル等
⑭ 顔の特徴を描く	絵画	●絵画を通してコミュニケーション能力を育成する。	クレヨン、鉛筆、紙、水彩絵の具
⑮ 自画像	版画	●紙版画の技法を習得させる。	紙、鉛筆、鋏、のり、顔料、ローラー
⑯ 美しい飾り	デザイン	●美の感覚を発達させる。 ●表現欲求、装飾欲求、承認欲求を育成する。	紙、鋏、のり
⑰ 紙で作る雪の結晶	工作	●きり絵の技法を習得させる。 ●多様な表現方法を体験させる。	紙、鋏、鉛筆
⑱ 民間美術の中の人物と動物	鑑賞	●表現形式の多様性や技法を理解させる。	

一年生（後期）

題材名	分野	目的	材料、用具
① 子ども達の絵画	鑑賞	●美術への興味を持たせる。	紙、のり
② 大きいと小さい	構成	●面白い活動を通して、日常生活の中にある大小の形を認識させる。 ●視覚的機能を発達させる。 ●観察能力、記憶能力、表現能力を育成する。	
③ 高いと低い	同上	●同上。	クレヨン、鉛筆、水彩絵の具、紙
④ 繁茂する花	構成	●同上。	同上
⑤ 麦畑	絵画	●同上。	同上
⑥ 蜻蛉と蜜蜂	同上	●同上。	同上
⑦ 子鳥の家	同上	●同上。	同上
⑧ 生き生きとしている人物の動き	同上	●同上。	同上
⑨ 雨が降る	同上	●同上。	同上
⑩ 赤いマフラーをかける	鑑賞	●母国を愛させる。	
⑪ 民族の衣装	同上	●同上。	
⑫ 私の太陽	構成	●子どもの個性、独創性を発揮する。	クレヨン、紙、水彩絵の具

			● 想像能力と創造能力を育成する。	
⑬ 小さい手袋	デザイン	● 同上。		
⑭ 風車	工作	● 同上。		紙、クレヨン、鋏
⑮ おもちゃを作る	同上	● 同上。		同上
⑯ 立つ動物	立体構成	● 紙の豊富な加工特性を理解させる。		紙、水彩絵の具
		● 空間感覚、想像能力と創造能力を育成する。		紙、鉛筆、クレヨン、鋏、のり
⑰ 色とりどりの傘	工作	● 同上。		
⑱ 美しいしおり	同上	● 同上。		同上
⑲ 絵画の中の人物と動物	鑑賞	● 表現形式の多様性や技法を理解させる。		同上

二年生（前期）

題材名	分野	目的	材料、用具
① 子ども達の絵画	鑑賞	● 美術への興味を持たせる。	
② 方形と円形との組み合わせ	絵画	● 観察能力と表現能力を育成する。	水彩絵の具、紙
③ 速く走る汽車	構成	● 同上。	鉛筆、クレヨン、水彩絵の具、紙、鋏、のり
④ 手伝うロボット	絵画	● 想像能力を育成する。	クレヨン、紙
⑤ 悪戯な猫ちゃん	同上	● 観察能力と表現能力を育成する。	水彩絵の具、紙、クレヨン
⑥ 虫を食べる草	デザイン	● 同上。 ● 表現形式の多様性や技法を身につける。	鉛筆、紙、鋏、のり
⑦ 木の葉で作る	絵画	● 同上。 ● 観察能力、理解能力、思考能力、想像能力、創造能力と表現能力を育成する。	木の葉
⑧ フロクージュ	同上	● 同上。	木の葉、クレヨン、紙
⑨ クラスメートを描く	同上	● 同上。 ● コミュニケーション能力を育成する。	紙、マーカー
⑩ 料理を作る	同上	● 同上。 ● 労働に対する意識を育成する。	紙、鋏、クレヨン、鉛筆
⑪ シャボン玉	同上	● 手や体全体を働かせる。 ● 材料の色や形などの属性を	シャボン玉を作る必要な材料、用具

⑫ 親戚を訪ねる	同上	●身近かな生活に目を向けさせる。 ●遠近法を身につける。	鉛筆、紙
⑬ 大通り	デザイン	●空間認識を発達させる。	紙、鉛筆、鋏、のり
⑭ 故郷の新しい建物	絵画	●同上。	鉛筆、クレヨン、紙
⑮ 花を彫って刷る	デザイン	●多様な表現手段と素材を体験させる。 ●表現意欲と想像能力を育成する。	芋、絵の具、ナイフ、紙
⑯ 美しいレース	構成	●造形的秩序や造形感覚の基礎能力を学習させる。	ペン、紙
⑰ 紙の箱で玩具を作る	工作	●材料の形状、色、材質感、硬軟などの属性を理解させる。	紙の箱、マーカー、のり、鋏
⑱ 幸せな子ども時代	鑑賞	●美術への興味を持たせる。	

二年生（後期）

題材名	分野	目的	材料、用具
① 子ども達の絵画	鑑賞	●美術への興味を持たせる。	
② 冬の思い出	同上	●身近かな生活に目を向けさせる。	
③ 明るいと暗い	構成	●光と色を通して、美しさや明るさ、暖かさなどの感情を発達させる。	紙、鋏、のり
④ 暖かい太陽	同上	●同上。	クレヨン、紙
⑤ 花火	絵画	●同上。	クレヨン、水彩、水彩絵の具
⑥ 海底	同上	●同上。	同上
⑦ 宇宙の旅	同上	●個性、独創性を発揮する。 ●想像能力と創造能力を育成する。	同上
⑧ 子どもを描く	同上	●コミュニケーション能力を育成する。	鉛筆、紙
⑨ 公園	同上	●同上。	水彩絵の具、クレヨン、紙
⑩ 自然の図形—雲	構成	●造形的秩序を学習させる。 ●造形感覚を育成する。	同上
⑪ 自然の図形—木の皮	同上	●同上。	同上
⑫ 自然の図形—蝶々の羽	同上	●同上。	同上

⑬ 自然の図形—水の波	同上	● 同上。	同上
⑭ 自然の図形—石	同上	● 同上。	同上
⑮ 飾るもの	工作デザイン	● 表現欲求、装飾欲求、承認欲求を満足させ、育成する。	紙、クレヨン、鋏
⑯ 美しい自然	鑑賞	● 美的感覚を育成する。 ● 自然を愛させる。	

三年生（前期）

題材名	分野	目的	材料、用具
① 子ども達の絵画	鑑賞	● 美術への興味を持たせる。	
② アルファベットと数字	デザイン	● 視覚伝達のデザインを身につける。	紙、のり
③ いろいろな線	絵画デザイン	● 線描の方法を身につける。	鉛筆、紙
④ 線で樹を描く	同上	● 同上。	同上
⑤ 線で建物を描く	同上	● 同上。	同上
⑥ 線で植物を描く	同上	● 同上。	同上
⑦ 静物	鑑賞	● 多様な表現方法を理解させる。	
⑧ 風景写生	絵画	● スケッチを身につける。	鉛筆、紙
⑨ 学校へ行く	同上	● 身近かな環境を気付かせる。	クレヨン、紙、水彩絵の具
⑩ 手	同上	● 観察能力を育成する。	鉛筆、紙
⑪ 顔	同上	● 同上。	同上
⑫ 自分の顔を描く	同上	● 同上。	同上
⑬ 漫画	デザイン	● 視覚伝達のデザインを身につける。	同上
⑭ お面	同上	● 表現欲求、飾る欲求、変身願望を実現する。	紙、水彩絵の具、クレヨン、鋏
⑮ 誕生日	絵画	● 身近かな環境を気付かせる。	クレヨン、水彩絵の具、紙
⑯ 風景	鑑賞	● 多様な表現方法を理解させる。	

三年生（後期）

題材名	分野	目的	材料、用具
① 子ども達の絵画	鑑賞	● 美術への興味を持たせる。	
② 祝日の料理	同上	● 同上。	
③ 原色と間色	構成	● 色についての基礎を身につける。	

④ 美しい着色した紙	デザイン	<ul style="list-style-type: none"> ●モダンテクニックを身につける。 ●偶然にできた色や形を楽しませる。 ●想像能力を育成する。 ●美術への興味を持たせる。 	紙、染料
⑤ 夏の樹と秋の樹	構成	<ul style="list-style-type: none"> ●有彩度の明度や彩度、色相についての基礎を身につける。 	水彩絵の具、紙
⑥ 濃い背景と薄い背景	同上	<ul style="list-style-type: none"> ●同上。 	同上
⑦ 樹を植える	絵画	<ul style="list-style-type: none"> ●児童が持っている力を働かせる。 ●作り出す喜びを味わうようにさせる。 ●健康な体質、人間関係を作る能力、環境に適応する能力などを育成する。 	樹を植える必要な材料、用具。紙、水彩絵の具、鉛筆
⑧ 果物	構成	<ul style="list-style-type: none"> ●有彩度の明度や彩度、色相についての基礎を身につける。 	布、鋏、紙
⑨ 花瓶	同上	<ul style="list-style-type: none"> ●同上。 	同上
⑩ 顔	同上	<ul style="list-style-type: none"> ●同上。 	同上
⑪ 風景	同上	<ul style="list-style-type: none"> ●同上。 	同上
⑫ 野菜で動物を作る	立体彫刻	<ul style="list-style-type: none"> ●材料の属性を感覚させる。 ●発想する能力を育成する。 	果物、ナイフ
⑬ 走る動物	絵画	<ul style="list-style-type: none"> ●観察能力を育成する。 	鉛筆、紙
⑭ 話している二人	立体彫刻	<ul style="list-style-type: none"> ●材料の属性を感覚させる。 ●発想する能力を育成する。 	粘土
⑮ 貯金箱	同上	<ul style="list-style-type: none"> ●同上。 	紙の箱、鋏、のり
⑯ 中国の絵画—果物	絵画	<ul style="list-style-type: none"> ●中国の伝統的な表現手法を身につける。 ●筆と墨についての基礎的知識と用法を身につける。 	筆、墨、紙、水
⑰ 中国の絵画—鳥	同上	<ul style="list-style-type: none"> ●同上。 	同上
⑱ 中国の絵画—猿	同上	<ul style="list-style-type: none"> ●同上。 	同上
⑲ 絵画の中の人物	鑑賞	<ul style="list-style-type: none"> ●中国の歴史を習う。 	

四年生（前期）

題材名	分野	目的	材料、用具
① 子ども達の絵画	鑑賞	● 表現形式の多様性や技法を理解させる。 ● 美術への興味をもたせる。 ● 表現欲求を育成する。	
② 旗を揚げる	同上	● 母国を愛させる。	
③ 中国の古い建物	同上	● 同上。	
④ 自然の中の線と絵画の中の線	構成	● 造形的秩序を学習させる。 ● 造形感覚を育成する。 ● 観察能力を育成する。	鉛筆、紙
⑤ 自分のかばん	同上	● 同上。	同上
⑥ 細かく描く	同上	● 同上。	同上
⑦ 私の一番親しい人	絵画	● 身近かな生活を気づかせる。	鉛筆、水彩絵の具、クレヨン、紙
⑧ 窓から	同上	● 同上。	同上
⑨ 飾るもの一虎	工作デザイン	● 思考能力、表現欲求、承認欲求を育成する。	同上
⑩ 飾るもの一魚	同上	● 同上。	同上
⑪ 飾るもの一鳥	同上	● 同上。	同上
⑫ 収納箱	同上	● 同上。	同上
⑬ 壁紙	同上	● 同上。	同上
⑭ スカーフ	同上	● 同上。	同上
⑮ 彫刻の中の人物	鑑賞	● 表現形式の多様性や技法を理解させる。	

四年生（後期）

題材名	分野	目的	材料、用具
① 子ども達の絵画	鑑賞	● 美術への興味を持たせる。	
② 遠近法	絵画	● 遠小近大という描画表現上の技術を身につける。	紙、鉛筆
③ 町	同上	● 同上。	同上
④ 前面から見る	同上	● 正面から見たことを描かせる。	同上
⑤ 上から見る	同上	● 俯瞰図法を身につける。	同上
⑥ 学校	絵画	● スケッチを練習させる。 ● 身近かな生活を気付かせる。	鉛筆、クレヨン、水彩絵の具、紙
⑦ 徒競争	同上	● 同上。	同上
⑧ 好きな遊び	同上	● 同上。	同上
⑨ 絵で日記を描く	同上	● 同上。	同上

⑩ 鳥	絵画	●ステンシルを身につける。	紙、ナイフ、鋏、クレヨン
⑪ 水族館	デザイン 工作	●想像能力、創造能力を育成する。	紙、石、のり、鋏、水彩 絵の具、鉛筆
⑫ 玩具	同上	●同上。	同上
⑬ 石の上で色々な動物を描く	同上	●同上。	石、水彩絵の具
⑭ 編む	同上	●造形的秩序を理解させる。 ●造形感覚を育成する。	紙、鋏
⑮ 有名な作品	鑑賞	●表現形式の多様性や技法を理解させる。 ●美術への興味を持たせる。	

五年生（前期）

題材名	分野	目的	材料、用具
① 子ども達の絵画	鑑賞	●美術への興味を持たせる。	
② 構図	構成	●形態、配置、比率を美の構成要素として理解させる。	鉛筆、紙
③ 透視図法	同上	●透視図法を理解する。	同上
④ 同上	同上	●同上	同上
⑤ 同上	同上	●同上	同上
⑥ 働く姿	絵画	●スケッチを練習させる。 ●労働意識を育成する。	同上
⑦ 労働	版画	●同上。	同上
⑧ 私の家族	絵画	●身近かな生活を気づかせる。	同上
⑨ レタリング	デザイン	●字の多様な書き方を身につける。	紙、筆、鉛筆、ペン、水彩絵の具、墨
⑩ ポスター	同上	●ポスターを作る能力を身につける。	ポスターを作る必要な材料、用具
⑪ 凧を作る	デザイン 工作	●凧を作る技法を身につける。	凧を作る必要な材料、用具
⑫ 人形	同上	●人形を作る技法を身につける。	人形を作る必要な材料、用具
⑬ 中国の新年の絵画	絵画	●中国の伝統的な絵画を描く技法を身につける。	筆、水、顔料、紙
⑭ 中国の絵画（梅）	同上	●同上。	同上
⑮ 絵画の中の生活	鑑賞	●表現形式の多様性や技法を理解させる。	

五年生（後期）

題材名	分野	目的	材料、用具
① 子ども達の絵画	鑑賞	● 美術への興味を持たせる。	
② 構図	絵画構成	● 美的感性を育成する。 ● 均衡、統一、調和などによる美の構成要素を理解させる。	
③ 明暗	同上	● 明暗によって、立体を表現する技法を身につける。	静物、紙、鉛筆
④ 黒いと白い	同上	● 同上。	同上
⑤ 水彩画—静物	絵画	● 水彩画を描く技法を身につける。 ● 水彩画による色彩と形態を体験させる。	鉛筆、水彩絵の具、紙
⑥ 水彩画—風景	同上	● 同上。	同上
⑦ 水彩画—人物	同上	● 同上。	同上
⑧ 対称	構成	● 対称を美の構成要素の一つとして理解させる。	紙、鋏、のり
⑨ 不對称	同上	● 不對称を構成要素の一つとして理解させる。	紙皿、水彩
⑩ 形の変化—重複	同上	● リズム、変化を美の構成要素として理解させる。	
⑪ 形の変化—漸進的变化	同上	● 同上。	同上
⑫ オートバイにのる人	立体彫刻	● 立体表現の技法を身につける。 ● 材料の性質、量感をとらえる。 ● 作品の動態を表す。 ● 対象を大づかみに、部分と全体のバランスを考える。	粘土
⑬ 動くロボット	工作	● 同上。	紙箱
⑭ 絵画の中の静物	鑑賞	● 表現形式の多様性や技法を理解させる。	

六年生（前期）

題材名	分野	目的	材料、用具
① 子ども達の絵画	鑑賞	● 美術への興味を持たせる。	
② 水彩画	絵画	● 水彩画についての知識、技法を身につける。	水彩絵の具、紙

③ 色の明度対比	構成	●明度対比についての知識を身につける。	
④ 静物画	絵画	●色彩効果を理解させる。	
⑤ 色の寒暖	構成	●有彩色の色相や明度、彩度についての知識を身につける。	
⑥ 人物画	絵画	●色彩効果を理解させる。	
⑦ 風景画	同上	●同上	
⑧ 京劇の面	デザイン	●美的感覚を育成する。	京劇の面を作る必要な材料、用具
⑨ 挿絵	鑑賞	●美術への興味を持たせる。	
⑩ 中国画—花	同上	●同上。	
⑪ 紙による立体構成	構成	●空間への造形感覚を養う。 ●発想する能力を育成する。	紙、鋏、ナイフ
⑫ 紙による立体構成—動物	同上	●同上。	同上
⑬ 紙による立体構成—人物	同上	●同上。	同上
⑭ 切手	デザイン	●視覚伝達デザインを理解させる。	紙、鉛筆、水彩絵の具
⑮ 切り画	鑑賞	●造形的秩序を理解させる。 ●美的感覚を育成する。 ●美術への興味を持たせる。	紙、鋏、ナイフ
⑯ 年賀状	同上	●視覚伝達デザインを理解させる。 ●美術への興味を持たせる。	
⑰ 紙による立体構成—ボール	構成	●空間への造形感覚を養う。 ●発想する能力を育成する。	紙、鋏、のり、線
⑱ 美しい生活	鑑賞	●表現形式の多様性や技法を理解させる。	

六年生（後期）

題材名	分野	目的	材料、用具
① 子ども達の絵画	鑑賞	●美術への興味を持たせる。	
② 中国画—樹	絵画	●中国画の表現技法を身につける。	紙、墨、筆、水
③ 中国画—山水	同上	●同上。	同上
④ 中国画—人物	同上	●同上。	同上
⑤ 挿絵	鑑賞	●美術への興味を持たせる。 ●表現欲求を育成する。	

⑥ 色の世界	構成	● 有彩色の色相や明度、彩度 についての知識を身につける。	同上
⑦ 色彩の対比	同上	● 同上	同上
⑧ 紙による立体構成—鳥	同上	● 空間への造形感覚を養う。 ● 発想する能力を育成する。	紙、鉄、のり、クレヨン、 水彩絵の具
⑨ 卒業記念の絵画	絵画	● 母校を愛させる。	
⑩ 外国の美術作品	鑑賞	● 表現形式の多様性や技法を 理解させる。	

2 特徴ある美術教科書の例

中国の小学校での美術教育の教材構成は全体として（1）の表のようになっている。全体的な教材の特徴としては、以下のようなことがあげられる。

- 1) 伝統的美術文化に関連する教材がとりあげられている。
- 2) 国家、民族を越えた一般的教材が3分の1程度とりあげられている。
- 3) 現代社会や子どもの生活に関連する事象からの教材が設定されている。
- 4) 一般的な発達段階即した技法、技術による表現の教材が設定されている。
- 5) 表現の習得方法としては造形要素や視覚言語による技法習得を重視している。

こうした特徴に加えて、美術の基礎的要素としての造形要素や視覚言語の方法をとり入れてある。それらは直接的に扱うのではなく、各々の題材を通して教える場合も含まれている。

以下では各学年で中国の特徴ある教材を具体的にあげて述べる。

第1年生

①卵に絵を描く（工作）（図1）

マーカーによって卵に文様や絵を描くことによって伝統的文化の一端を知るものである。

②民間美術の中の人物と動物（鑑賞）（図2）

伝統的な剪紙や年画のなかに見られる人物や動物について知るものである。

③赤いマフラーをかける（鑑賞）（図3）

自国に対する愛国心を育くむために、日常的な活動を通して絵や版画で表現させる。

④色とりどりの傘（工作）（図4）

日常的に飾るものを制作して、そこに描く文様などを通して伝統的文化を知る。

第2年生

⑤美しいレース（構成）（図5）

伝統的なレースの作品を題材にして造形的秩序や造形感覚を習得する。

⑥幸せな子ども時代（鑑賞）（図6）

子どもの姿が構かれた中国の作品を通じて情操を育くむ。

⑦花火（絵画）（図7）

伝統的行事の中で花火をモチーフにして絵に表わすことによって光や色の美しさを知る。

⑧自然の図形—石（構成）（図8）

身の回りにある石を題材にして、自然の図形、色の美法を感じ、絵やイラストで表現す

る。

第3年生

⑨線で建物を描く（絵画、デザイン）（図9）

中国の特徴ある地方の建物を線によって描くことによって、歴史や環境を知る。

⑩お面（デザイン）（図10）

お面を題材として、デザインや工作に表現する。

⑪祝日の料理（鑑賞）（図11）

子どもの日常生活の中で楽しい思いのある料理を鑑賞や絵画として表現する。

⑫中国の絵画—果物（絵画）（図12）

伝統的な中国画を手本として毛筆の技法を習得する。

第4年生

⑬中国の古い建物（鑑賞）（図13）

中国の特徴ある建物、環境が絵画を通して知る。

⑭スカーフ（デザイン、工作）（図14）

スカーフの様々な文様を鑑賞し、デザインすることによって伝統的なパターンや造形要素を習得する。

⑮町（絵画）（図15）

身近かな町や通りの風景を描くことで造形的な遠近感や大小の表現技術を習得する。

⑯玩具（デザイン、工作）（図16）

玩具を題材にして、様々な表情を知る。

第5年生

⑰労働（絵画）（図17）

労働することを版画や絵に表わすことによって労働観を育成する。

⑱中国の新年の絵画（絵画）（図18）

年画を通して伝統的な図形、描画技法を知る。

⑲対称（構成）（図19）

視覚言語としての左右対称を学ぶことによって自然や伝統文化に触れる。

⑳形の変化—漸進的变化（構成）（図20）

形のグラデーションを習得するために、建物や伝統的作品を参考にして文化を知る。

第6年生

㉑京劇の面（デザイン）（図21）

京劇の様々な面をモチーフにして、顔のバランス、表情と要素の関係を知る。

㉒きり画（鑑賞）（図22）

剪紙の作品を通して、中国の伝統文化を認識する。

㉓中国画—樹（絵画）（図23）

伝統的中国画を習得する。

㉔中国画—山水（絵画）（図24）

伝統的中国画を習得する。

Ⅲ 美術教育による基本的素質の育成

ここでは美術教育と基本的素質の育成について以下のような特徴を観点に述べる。

1 美術教育と子どもの思考能力と適応能力の育成

たとえば、子どもは無意識に自分の指や手で様々な材料と形に触ることと、組み合わせることにより、視覚と触覚、四肢や身体を发育できるのである。また意識して、実際にいろいろな対象物を表現することで、脳の发育もできる。思考能力と適応能力を育成することについて、リードは美術教育によって人間の知覚や感情は統合され、現実的問題を解決する能力を向上させることができると主張している。(注3) 美術の制作や鑑賞を通して、子ども達は物事に取り組む姿勢や社会的適応能力を身につけていく。それは五感を通じて獲得した経験によって培われた感性や創造性を自分の身体を使い、形として構成していく過程でもあり、人間の精神から肉体までの総合的活動といえる。たとえば、なぐり描きの段階の子どもは最初の自発的な作業によって、周囲の物事を観察することや外界を自主的に受容することができる。外界と関わりを持ちながら、それらを自らの内面に採り入れ、自己の内面を外界に表現する。また、様々な事象を吟味し比較することによって、外界と自分との関係を統一し、認識するようになる。そして、生命そのものや生命の要求に従って生きることができるようになるのである。

2 美術教育と潜在的能力の開発

たとえば、同じ材料を用意して、異なるものを作らせることにより、子どもが自分自身を考えることによって、潜在的能力を開発できるのである。なぜなら、従来の教育の任務とは、多くの要素から一つの答えを導く能力を指していた。しかし、人間の思考活動にはそのような知能とは異なる重要な部分が存在する。また自分で新たな表現を模索する難しさを体験せず、安易な模倣を繰り返す子どもがいる。そうした子ども達は行動や考え方で他人に頼る危険性がある。美術の制作や鑑賞はむしろ前者とは逆に、一つの前提から多くの答えを導く拡散的思考力が必要である。つまり、ある既定の関係を多様に変化させ、多くの可能性を見出していく能力のことである。美術教育はその目的に対して重要な働きをしているのである。

3 美術教育と合作能力の育成

たとえば、子ども達はお互いに顔を描くことや、全員で一緒に教室を飾ることなどで合作能力を育成することができる。また、お互いに理解する能力、訴える能力も育成できる。子どもは他人の作品を見ると、心が惹きつけられるものがあつたら、作家の制作意図を理解したいと思う。作品を作るとき、自分の作品を見る人間の心理などを考慮して進めて行かなければならない。また、純粹表現における絵画や彫刻においても、素材の特性、素材の入手方法、扱い方、使用効果などを理解することもある。機能性を持つ作品の制作を行う場合は制作者はそれを用いる人間をイメージし、人間の身体構造や心理について理解する必要がある。造形物を制作するためには、自分自身が社会との関連をはじめ、様々な事象を意識し、理解しておかなければならない。このような活動を通して、子ども達は社会との関連を深め、また、お互いに共力する合作能力を育成することができる。

4 美術教育における「ものづくり」について

美術教育の「ものづくり」という活動は人類がここまで文明を発達させてきた根源的な活動である。美術教育の「ものづくり」という体験は、素材と技術を駆使し、目的を持って制作することであり、子どもの生きた知識や諸能力の発達を促すのに重要な意味を持つのである。いわゆる、創造能力を育成することができる。このことは、単に変わったことを考え出すことではなく、思い付きやアイデアに終わるものでもない。そこに筋道を通した思考があり、制作の結果に至る過程や、子どもの内面において行われる思考活動など、目に見えない部分に価値がある。

5 日本の小学校での図画工作科との比較

中国小学校での美術教育についての教材等は前述のようになっている。教育目的は美術の基本的な知識や技術の習得が主となっている。それらは直接的な目的といえる。また、間接的な目的としては、愛国心、道徳心、意志の育成などがある。

これに対して日本の美術教育の小学校での図画工作科は、創造性や情操の育成を主目的としている。造形的創造性の育成のための基本的技術の習得については、最小限習得することになっているが、創造性や個性の育成の方が主目的となっている。また、日本の図画工作科では、純粹に造形性による表現が多く、対社会、対国家というような題材はデザインの一部を除いてはほとんど見ることはできない。それに対して中国での題材には、郷土の風景、身近かな環境や社会的活動、国に対する愛国的心情の育成などの対社会的な題材が組み込まれている。

伝統的な教材という点では、中国の美術教育の教材には中国画、玩具、伝統工芸品などが多く含まれている。日本の図画工作科では、日本の伝統的美術文化を反映するような具体的題材はほとんど見当たらない。日本の教材は一般的、普通の題材で構成されているといえる。

技法、技術の習得という点では、中国では造形要素や視覚言語による段階的習得が多く採り入れられている。いわば系統的学習方法が成されている。日本では現在は系統的学習ではなく、問題解決学習が多く、それによって子どもの個性や創造性を育成しようとしている。

美術教育の方法については、教育課程の改訂や時代背景によって変化することがあるが、創造性の育成という点では、系統的学習と問題解決学習のいずれが成果を期待できるのかは、まだ解決されているとはいえない状態である。

注

- 1 中華人民共和国国家教育委員会制定「美術教学大綱」1992
- 2 中国教育学会美術教育研究会、北京市教育局教材編審部、北京市教育学会美術教育研究会「小学美術課本」人民美術出版社 1991
- 3 ハーバート・リード 内藤史郎訳「芸術教育による人間回復」明治図書 1972 p.17

図版

中国教育学会美術教育研究会、北京市教育局教材編審部、北京市教育学会美術教育研究会「小学美術課本」人民美術出版社 1991 より抜粋した。

付記

本論文は段薇清の山口大学大学院教育学研究科修士課程（指導教官福田隆眞）における修士論文（平成13年度）を基にその一部を書き改めたものである。

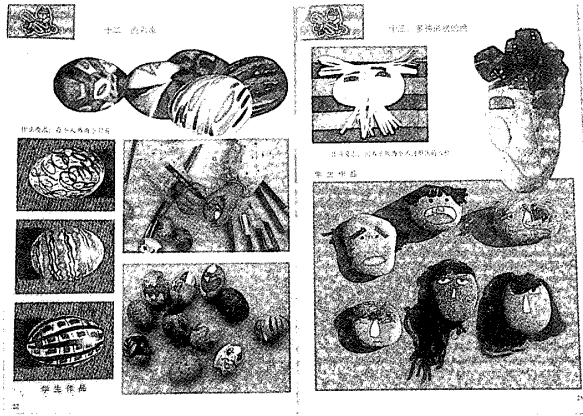


図1 卵に絵を描く (1年)

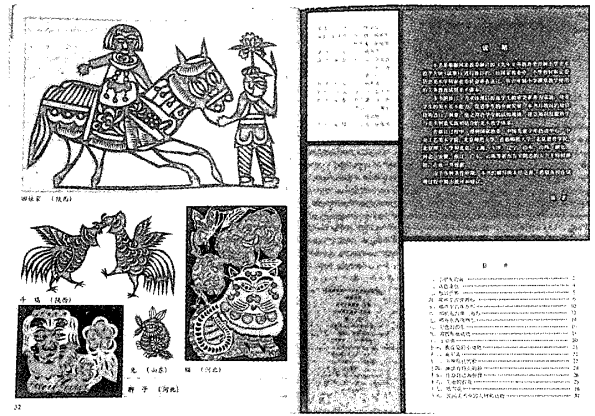


図2 人物と動物 (1年)

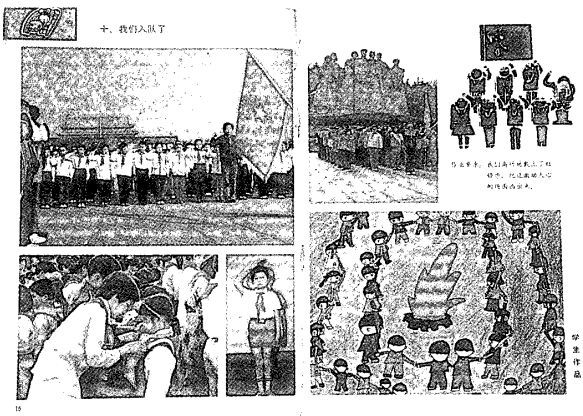


図3 赤いマフラー (1年)

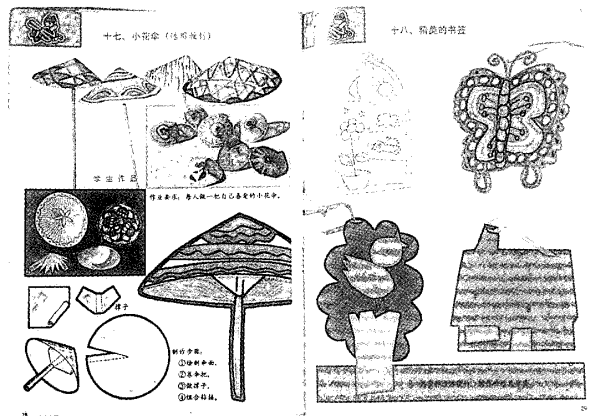


図4 色とりどりの傘 (1年)

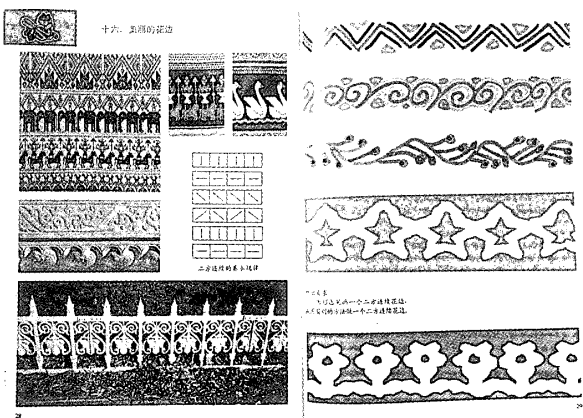


図5 美しいレース (2年)

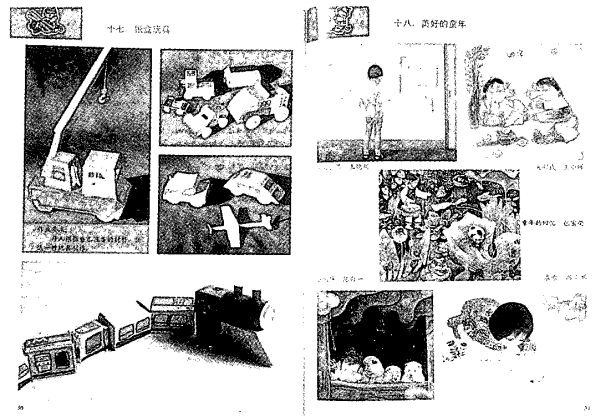


図6 幸せな子供時代 (2年)

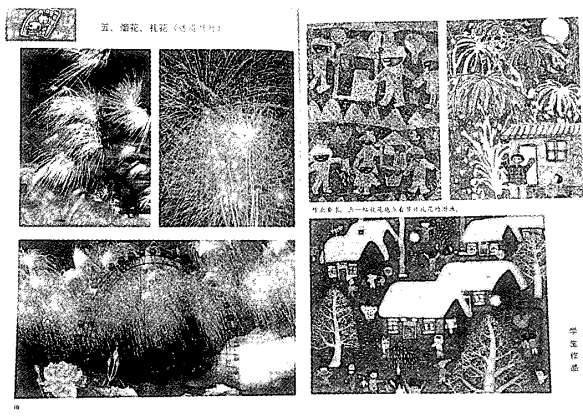


図7 花火 (2年)

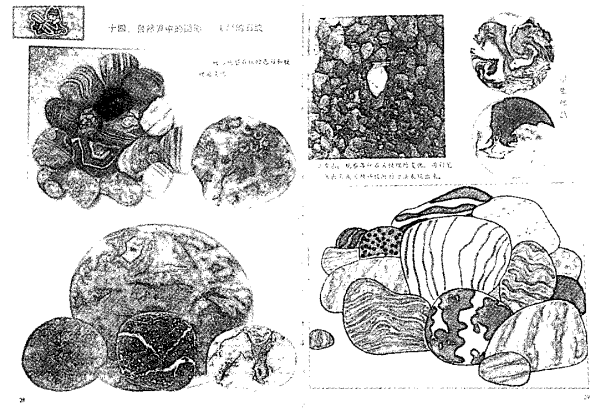


図8 自然の図形一石 (2年)

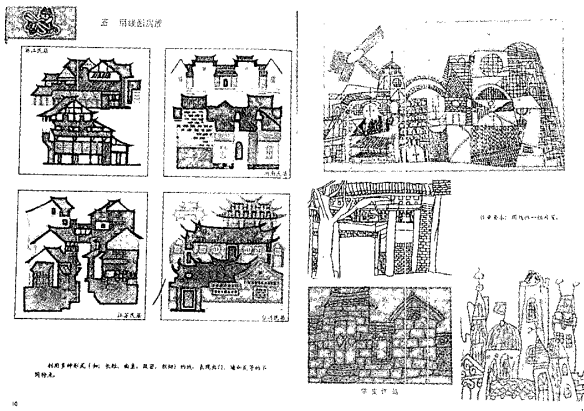


図9 線で建物を描く (3年)

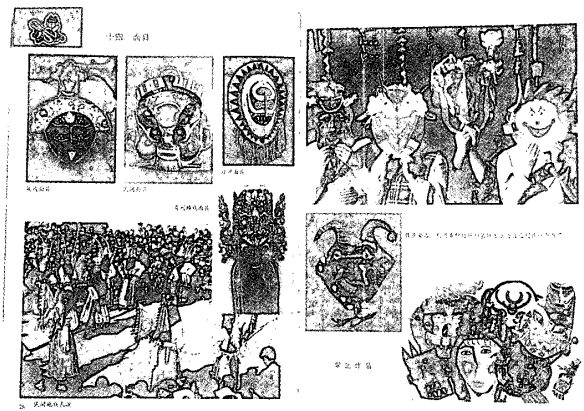


図10 お面 (3年)

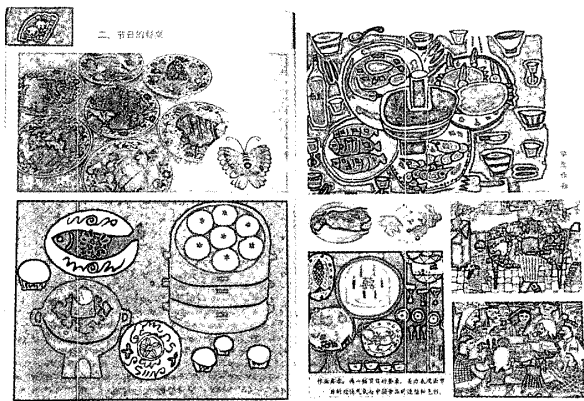


図11 祝日の料理 (3年)

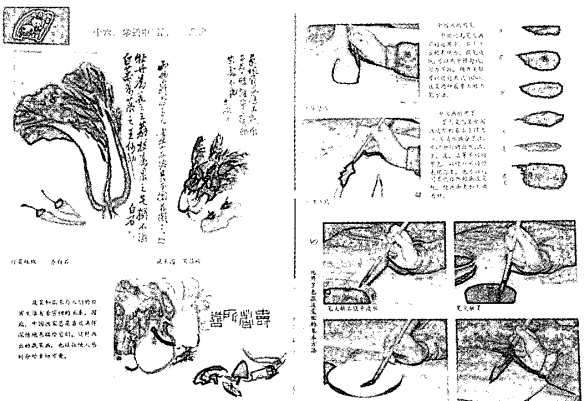


図12 中国の絵画—果物 (3年)

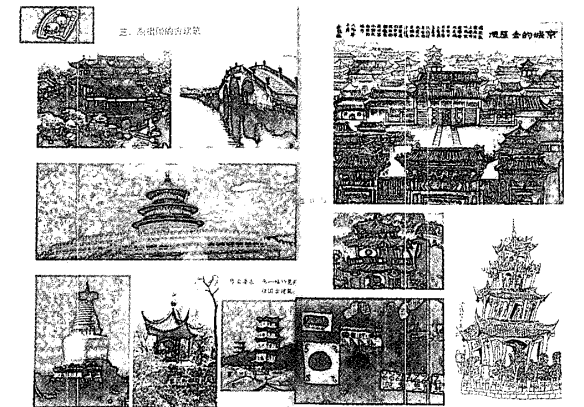


図13 中国の古い建物 (4年)

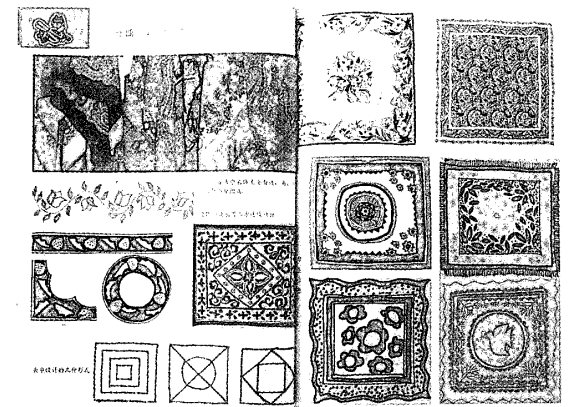


図14 スカーフ (4年)

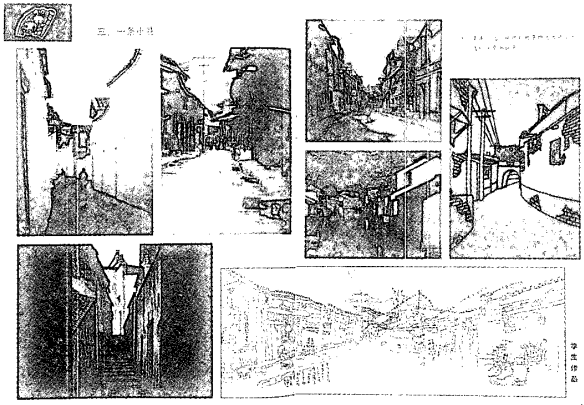


図15 町 (4年)

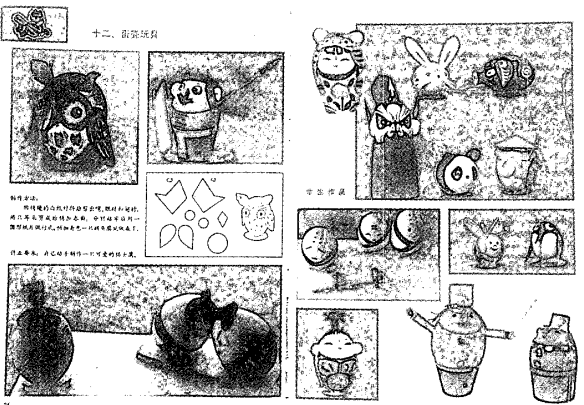


図16 玩具 (4年)



图17 劳动 (5年)

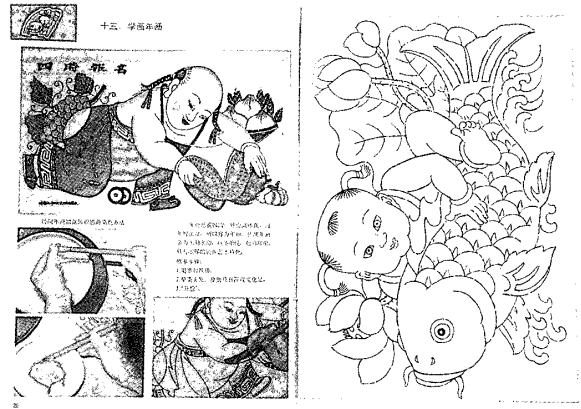


图18 新年的绘画 (5年)

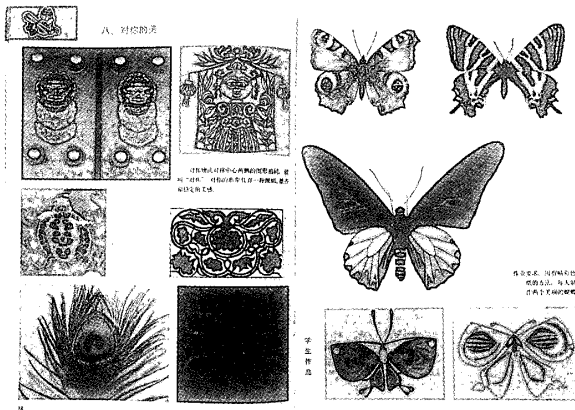


图19 对称 (5年)

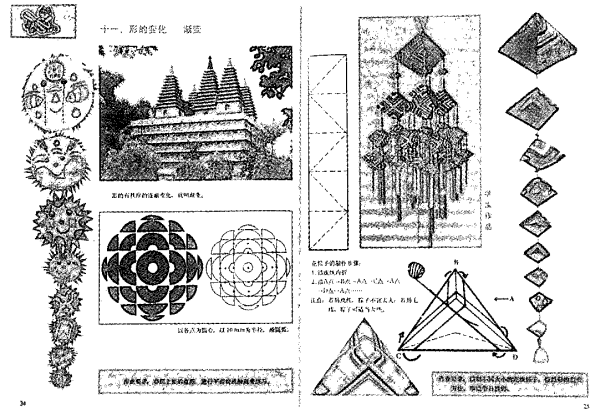


图20 形的变化 (5年)

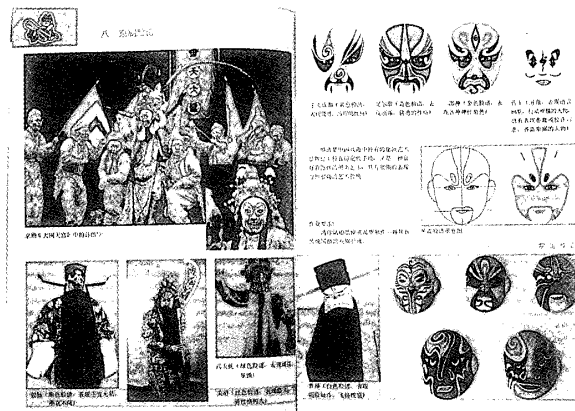


图21 京剧のお面 (6年)

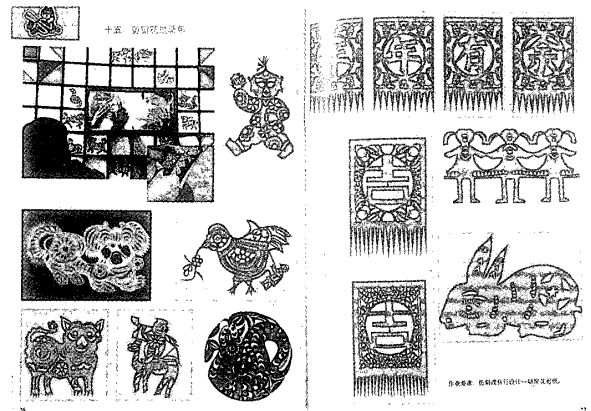


图22 切り絵 (6年)

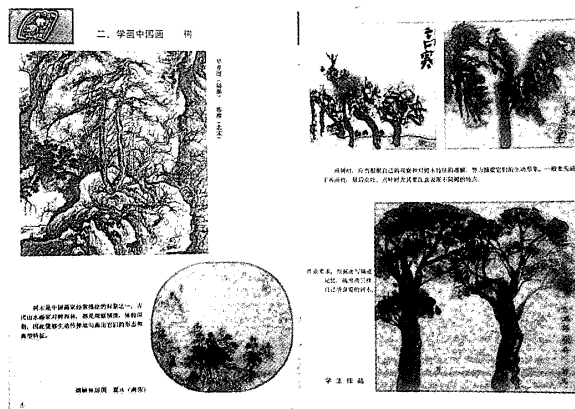


图23 中国画一樹 (6年)

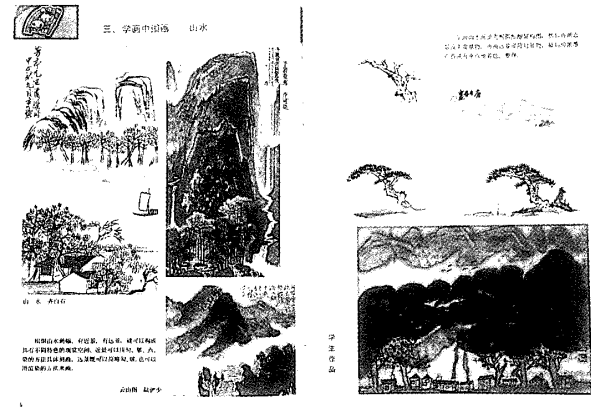


图24 中国画一山水 (6年)